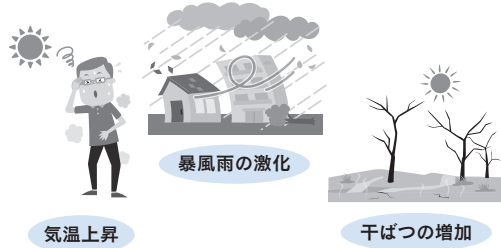


脱炭素社会実現に向けて 〈環境負荷ゼロへの挑戦〉

このコーナーでは、市の環境に関する取り組みや、くらしに役立つ情報を紹介します。
サステナ
 ○Sustainaには、「持続可能な～」という意味を込めています。

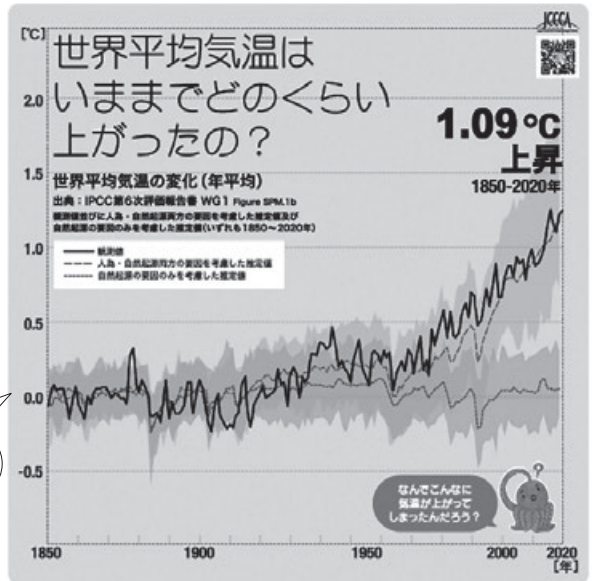
現在、地球規模で温暖化が進み、さらなる気候変動が問題視されています。その原因とされているのが、温室効果ガスの増加です。

さらに、産業革命以前と比べて世界平均気温が「1.5℃上昇」すると今よりリスクが大きくなり、この「1.5℃上昇」は温暖化の影響が人類に深刻な影響を与えるかどうかの「境界」とされています。（※2018年のIPCC「1.5℃特別報告書」による）



2020年現在で既に1.09℃上昇しています。

出典：A-PLAT



気候変動には「緩和策」と「適応策」の2つの対策に取り組むことが重要とされています

緩和

とは？
原因を少なく

2つの 気候変動対策

適応

とは？
影響に備える

緩和策の例

- 節電・省エネ (Lightbulb, 00)
- エコカーの普及 (Car)
- 再生可能エネルギーの活用 (Solar panel, Wind turbine)
- 森林を増やす (Trees)
- 温室効果ガスを減らす (CO2 cloud)

適応策の例

- 感染症予防のため虫刺されに注意 (Mosquito)
- 熱中症予防 (Sun hat, Water bottle)
- 災害に備える (Disaster relief supplies)
- 高温でも育つ農作物の品種開発や栽培 (Fruits, Water tap)

気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること(緩和)が重要です。

緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと(適応)が重要です。

出典：全国地球温暖化防止活動推進センター

笠間市の展望



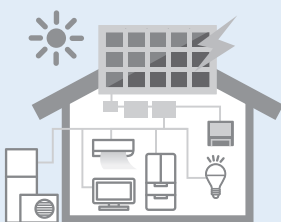
地域脱炭素に向けた取り組みについて、市民や事業者と連携強化を図りながら積極的に推進し、脱炭素を早期に実現する「環境先進都市かさま」を目指していきます。

まずは一般住宅・事業所・公共施設における再生可能エネルギーの導入促進を図り、従来型のエネルギー供給構造から脱却した、地産地消による持続可能なまちづくりを進めていきます。

脱炭素社会実現に向けた補助を実施しています

【住宅用太陽光発電・蓄電システム設置費補助金】

- ①太陽光発電システム：上限 8万円(1kWあたり2万円)
 - ②蓄電システム：上限15万円(蓄電池設置費×1/3)
- ※太陽光発電システムのみは対象外
 ※システム設置工事の着工前に申請



詳しくはHPで

問 環境政策課 (内線125)